

# 人間教育を重視、「人を思いやる心」を持つ医師を養成

日本医科大学学長 田尻 孝氏

## 創立一三六年の日本最古の私立医科大学

**本誌** 日本医科大学は創立一三〇年を超えるわが国最古の私立医科大学なのですね。

**田尻** 本学は、長岡藩の藩医として河井継之助の最期を看取り、維新後には衆議院議員や内務省衛生局長、日本薬局方調査会長などを務めた長谷川泰先生により、西洋医の早期育成を目指して一八七六年に創設された済生学舎を前身としており、今年で創立一三六六年なります。済生学舎は済生救民を建学の精神に「貧しく病で苦しむ人々を救う」ことを目的に創立され、明治期の国民医療を支えてきました。この建学の精神は本学に脈々と受け継がれており、本学では克己殉公、「私心を去って医療に献身し、国家社会に対する責任を全うする」を学是に、愛と研究心を有する質の高い医師、医学者の育成を教育理念に掲げ、一三〇年にわたって人間性豊かな医師や医学者を育成しており、細菌学者の野口英世や東京女子医科大学創立者の吉岡弥生、マリリン・モンロー、ロバート・ケネディを検死した米国ロサンゼルス

郡検死局長のトーマス野口、丸山ワクチンを開発した丸山千里、日本医師会会長、世界医師会会長を務めた坪井栄孝など、これまでに一万人を超える臨床医、医学研究者、医政従事者を輩出してきました。

**本誌** 競争力のある大学づくりを進めています。

**田尻** 本学では常に一〇年後を見据え、「真の医のプロフェッショナル」の育成に向けた医学教育を行っており、「質の高い医師の育成」「大学院の充実と積極的な研究支援」「教員の『教育・研究・診療』意欲を高めるための『教員評価』」「学事運営の活性化」の四項目を掲げ、必要な改革を進めており、時代に即した医師としての人間教育を重視するとともに、卒前教育を充実させるために基礎科学・基礎医学・臨床医学の一体化を推進しています。また、卒業後の初期臨床研修期間にも力を注いでおり、六年間の学部課程と卒業後二年間の研修を一貫した医学教育と捉え、研修終了後には第一線で活躍できる医師の養成を行っています。さらに、現代の医療は医師だけでなく看護師や薬剤師、検査技師、事務職員など多くのスタッフによるチー

ム医療が前提となっており、そのなかでリーダースhipをとれる医師の育成を目指しています。

**本誌** 模擬患者を養成し、正式カリキュラムで模擬患者の参加する授業を行っています。

**田尻** 「患者さんに優しい医師を育てませんか」のキャッチフレーズで大学独自に模擬患者を養成、コミユニケーション実習や胸痛などの病人に扮した模擬患者が参加する臨場感溢れる授業を行っており、この活動は二〇〇八年度日本医科大学賞（教育部門）の表彰を受けました。また本学では二〇〇六、二〇〇七年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に採択された「学年や学部を超えて互いに教えて学ぶ医学教育プログラム」も実施しています。

**本誌** 世界基準の医師の育成に早い段階から取り組み、海外の病院での臨床実習も可能なのですね。

**田尻** 本学では、ハワイ大学（米国）、ジョージワシントン大学（同）、南カルフォルニア大学（同）、デンバーヘルス病院（同）、ハルビン医科大学（中国）、中国医科大学（同）、西安交通大学（同）、チェンマイ大学（タイ）、タマサート大学（同）、



田尻孝（たじり・たかし）氏

1943年生まれ。1969年・日本医科大学卒業。同年・日本医科大学第一外科入局。1973年・同大学大学院医学研究科博士課程修了、医学博士号を取得。1982年・同大学付属病院第一外科医局長。1983年・同大学講師。1989年・助教授。2002年・第一外科主任教授。2003年・同大学大学院医学研究科臓器病態制御外科学分野教授。2005年・同大学医学部長。2008年10月・同大学学長に就任。学是「克己殉公」、教育理念「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」、医学部医学科、学生数・658名（2012.4.18現在）

サンクトペテルブルグ・ハプロフ医科大学（ロシア）など世界各国の医療機関や大学と協定を結び、学生の派遣、受け入れや教員間の交流を図っており、正式な教育プログラムとして海外臨床実習も行っています。これは、第六学年で履修する臨床実習を海外の病院で行うことができるもので、毎年、提携大学であるハワイ大学やジョージワシントン大学などで実習を行う学生が多数います。

このほか、学生の自主的活動として行っている東南アジア医学研究会によるタイやアジア諸国への医学留学やM.E.S.S.が中心になり国際医学生連盟を通して行われているヨーロッパ諸国との短期交換留学などもあり、これらの活動に参加する学生に対し、助成金制度を設立し経済的支援を行っています。また毎年、海外から五〇名ばかりの留学生が本学のキャンパスで学んでおり、研究者も毎年三〇名以上が本学に在籍し、最先端の研究を行っています。

本誌 大学院は二〇一〇年に設置五〇周年を迎えていますね。

田尻 一九六〇年に設置された本学の大学院は、私立医科大学としては全国で最も伝統のある大学院の一つで、設立当時は五専攻系三分野でしたが、二〇〇二年に私立医科大学としては初めての大学院重点化宣言を行うとともに加齢科学系を立ち上げ、現在は生理系七分野、病理系三分野、社会医学系三分野、加齢科学系五分野、内科系八分野、外科系一分野の六専攻系七分野を擁しています。優れた研究心をもった医師を育成し、世界トップレベルの研究成果を生み出す環境を構築することも本学の責務であり、大学院教育の充実に向け二〇〇七年には千駄木キャンパス（東京都文京区）に大学院棟を新設しました。なお、本学では入学当初の一年間は新丸子キャン

パス（神奈川県川崎市）で社会人として必要な教養や基礎医学の素地を学び、2年次以降卒業までと大学院は千駄木キャンパスになります。

本誌 学長は「人を思いやる心」を信条としていますね。

田尻 医療現場では、医師に患者の家族がどんな医療を求めるかなど病気だけでなく患者の心も診ることが求められています。病のみならず、心までも支えることができるのが真の医療人なのです。自分はなぜ医師を目指すのかということを繰り返し考え、「なぜ」という好奇心と探求心を常に持っていて欲しいと思います。とくに医師に求められるのは「我が身を捨てて、広く人々のために尽くす」ということです。これは本学の学是である「克己殉公」という考え方にも通じています。医療をビジネスとして考えるのではなく、何の打算も計算もなしに、病める人のために最善の治療を行う医師を育てるのが医学教育であり、そのために本学関係者全員のアイデアに耳を傾け、全教職員が一丸となり、法人と大学そして病院の三者が連帯できる風通しの良い組織づくりをさらに進めていきます。